

## 災害時備蓄食品を小・中学校へ配布 フードロスの削減と防災教育に活用しています



2024年3月11日

郡山市総務部

防災危機管理課

課長 水澤 基明

ターゲット 13.1 TEL: 924-2168

SDGs ターゲット 13.1 「すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱化（レジリエンス）及びその適応の能力を強化する。」

これまで、東日本大震災や令和元年東日本台風の発生時期を中心に、災害時備蓄品の試食による家庭用備蓄の推進などの防災啓発を図るとともに、フードロス削減及びサーキュラーエコノミー（循環型経済）の推進を図るため、毎年、備蓄食料等の更新時期にあわせ、災害時備蓄品を小・中学校に配布しております。

今後についても、防災啓発のため、計画的に市内の全小・中学校への配布を継続してまいります。

### 1 今回の配布

令和6年3月配布 6校配布 災害時備蓄品（クラッカー 3,250食分）

行健第二小学校、明健小学校、桜小学校、薫小学校、柴宮小学校、大島小学校

### 2 これまでの実績

(1) 令和3年配布 4校配布 災害時備蓄品（クラッカー 910食分）

芳山小学校、橘小学校、富田東小学校、大成小学校

(2) 令和4年配布 3校配布 災害時備蓄品（アルファ米等 2,450食分）

小原田小学校、高瀬中学校、郡山第五中学校

(3) 令和5年10月配布 7校配布

災害時備蓄品（アルファ米、クラッカー等 2,470食分）

明健中学校、郡山第二中学校、郡山第三中学校、西田学園義務教育学校

小泉小学校、永盛小学校、赤木小学校

(4) 令和5年12月から令和6年1月にかけて配布 4校配布

災害時備蓄品（缶詰、飲料水等 1,000食（本）分）

緑ヶ丘中学校、高瀬小学校、御代田小学校、守山小学校

### 3 今後の予定

これまでの配付実績及び被災状況を踏まえ選定し、計画的に配布してまいります。



2024（令和6）年に郡山市は市制施行100周年を迎えます！！

ひらけ 未来へ こおりやま